



192

2015.4.16

岩手県矢巾町議会

徳田保育園卒園式

やはば

議会だより

議会からのお知らせ
議会基本条例を制定 … 2

予算審査特別委員会
平成27年度予算 …… 4

一般質問 町政を問う
笑顔あふれる町づくりを
一般質問9議員 …… 17

● 議会改革特別委員会報告 ●

矢巾町 議会基本条例を制定

平成24年設置された議会改革特別委員会を26回開催し、さらに幹事会を32回開き平成27年3月20日の最終調査意見書の提出をもってその任務を終えました。取り組みの成果は次の通りです。

議会基本条例を制定

議会の基本姿勢を定める議会基本条例の策定は、議会改革の最大の課題でありましたが、27年3月会議において可決しました。

条例制定に伴い、矢巾町議会および議員の役割や責務が明らかになり、町民の福祉の向上と公正で民主的な町政の発展に寄与します。

総合計画 基本構想を議決

矢巾町総合計画の策定に当たって、議会の議決事項としたことにより、慎重審議し、27年3月会議に第7次総合計画の基本構想が提案され、議決しました。

今後は議会として基本計画策定に向け、しっかり検証していかなければなりません。



党派制・政務活動費の導入

党派制の導入と政務活動費の交付について検討を行い、27年3月会議において条例等を議決しました。

このことにより、議会活動が活発になり議員の資質向上が期待されます。

政務活動費の交付に当たっては、その趣旨を十分に理解し、町民の疑念を招くことがないように厳しく使途基準を定めており、一層慎重な取り扱いに配慮していきます。

また、政務活動費の交付に関する予算措置は、今まで議員が委員会に出席した際に、

政務活動費の使途基準

【支出できる主なもの】

研修費、講師謝礼、会場費、資料代、旅費

【支出できない主なもの】

飲食代、新聞、雑誌代、電話代、慶弔費、議員の個人活動、政治団体等への会費・寄付金

2000円支給されていた日は廃止となり、月額2万円の政務活動費を導入し、議会費の予算範囲内において調査研修活動が行われるもので、施行に伴う新たな予算の増額はありません。

なお、政務活動費は個人ではなく党派に支給され、収支報告が義務付けられます。

議会報告会の開催

議会報告会（町民と議会との懇談会）を今まで3回開催し、多くの町民の参加を得て、貴重な意見をいただきました。

今後は、開催場所や時間帯等も検討し、開催数も年2回以上を予定しております。

通年議会の導入

通年議会制度の導入を図り、議会主導による課題や研究調査に速やかに取り組むことができました。

例えば、災害箇所の視察や緊急な予算の審議ができ、柔軟な予算対応ができることにより、議会活動がより一層活発化されました。

反対討論 政務活動費関連条例

例については、費用弁償関連条例と併せ、議会改選後に町民に十分説明をしてから制定すべきである。

28年度予算に積算根拠を示し、決定してから執行すべきと考えることから反対する。

藤原 由巳

議会改革特別委員会

委員長 廣田 光男



一層開かれた議会を目指して



第3回町民と議会との懇談会

平成27年度予算

6次総合計画の総仕上げ

定例会3月会議は2月24日から3月20日まで開催し、第6次総合計画の最終年度である27年度の予算を中心に条例案や補正予算、人事案件等を審議しました。予算は、予算審査特別委員会を設置して審査し、本会議においてすべての会計で可決しました。

歳入

町の主要事業を行う一般会計予算の歳入は、前年度比1.2%減で90億4330万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、27年度に実施される国勢調査委託金の増などにより

町支出金が増加しました。一方依存財源の大きな割合を占める地方交付税・国庫支出金などは減少し、財政調整基金からの繰入などによる補てんが継続されました。



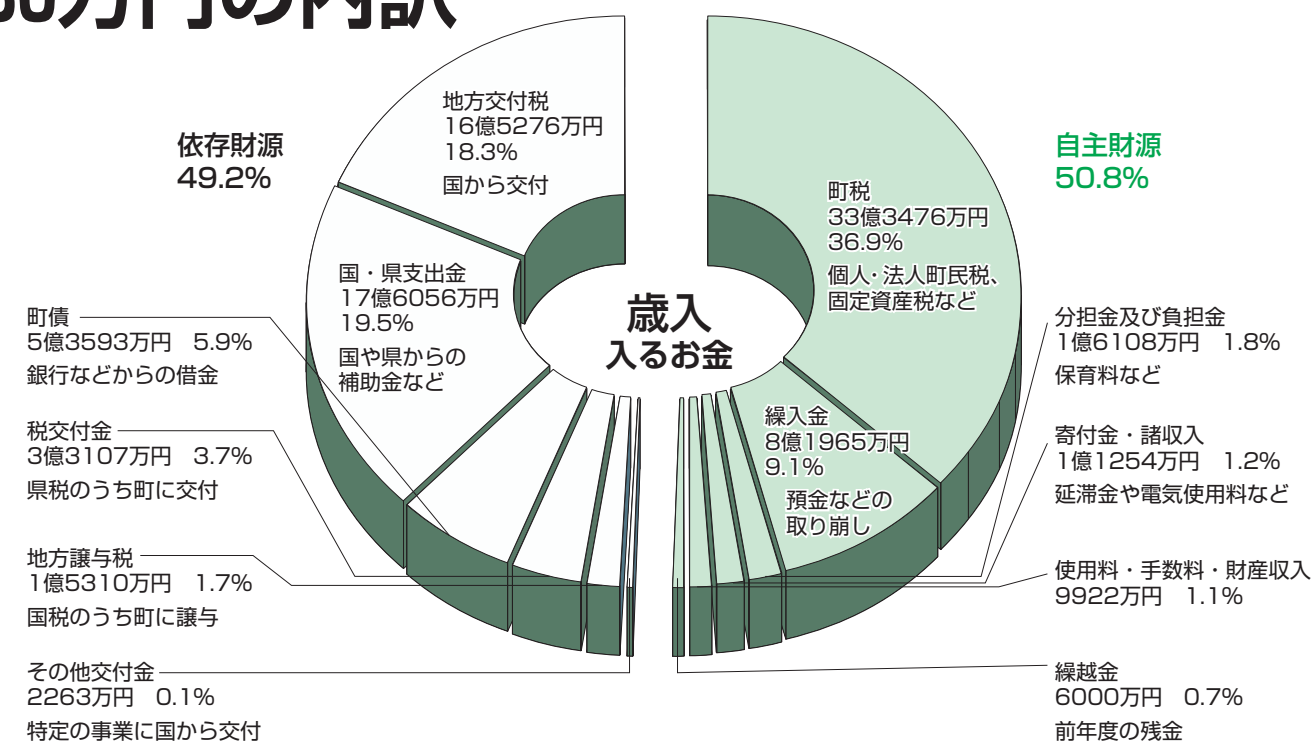
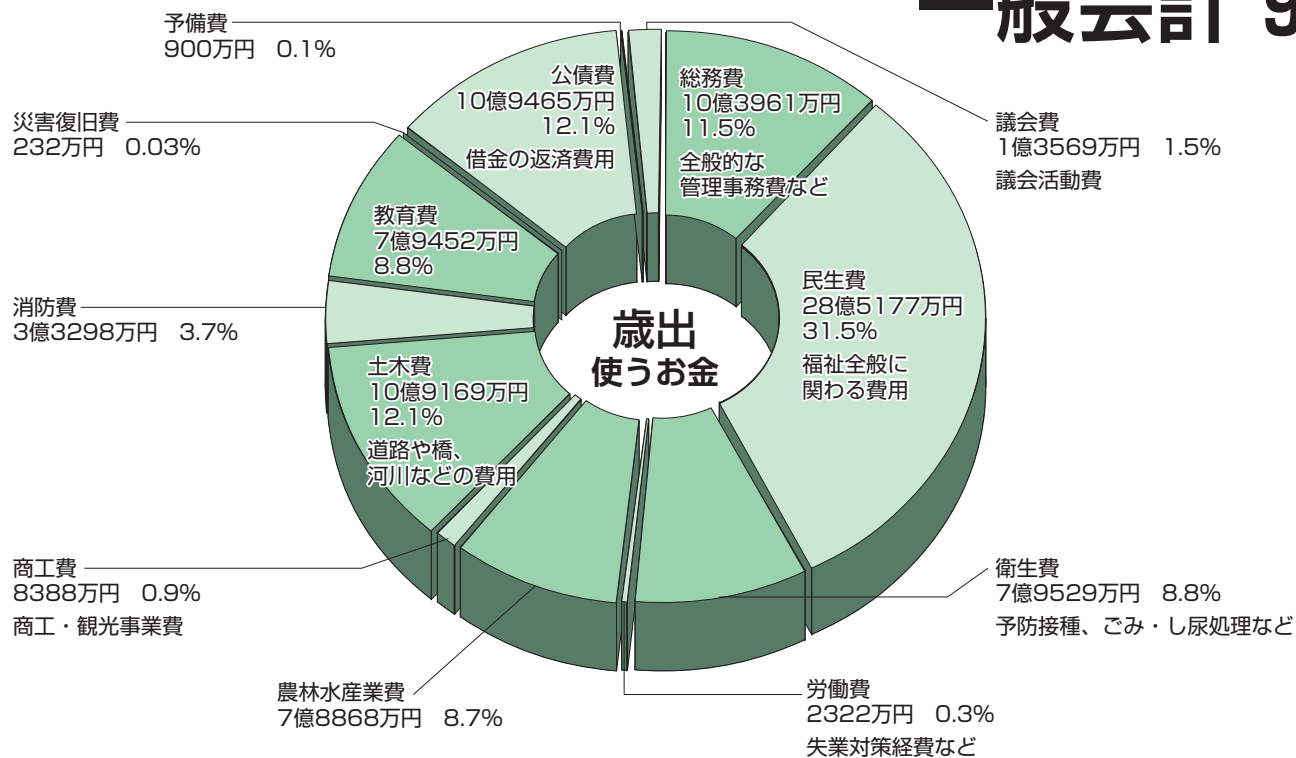
入居が進む中村地区

歳出

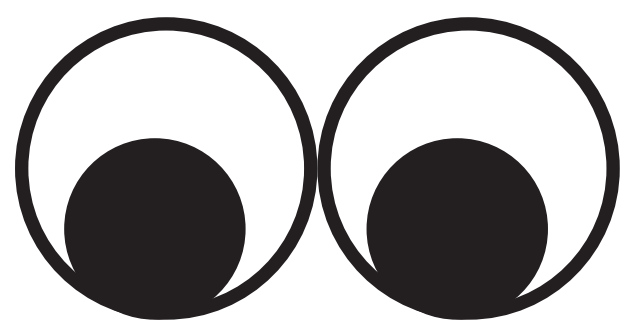
歳出においては、総務費・農林水産業費・教育費などは増加し、民生費・土木費・災害復旧費などは減少しました。農林水産業費では、多面的機能支払に関する負担金や農業体質強化基盤整備事業などにより、約2億4494万円の増となりました。

また教育費では、耐震補強などの体育施設維持管理事業等により、約9613万円の増となりました。今年度の主な事業内容については6〜7ページ、各特別会計・企業会計については、8ページの通りです。

一般会計 90億 4330万円の内訳



平成27年度予算



目玉事業

特用林産施設等体制整備 1975万円

原木シイタケほだ木購入への補助を行います。



厳しい環境の中頑張るシイタケ農家

河川監視システム設置 2118万円

岩崎川、大白沢川、芋沢川、太田川の4河川に、監視のためカメラを設置します。



監視カメラが設置される 岩崎川（山王茶屋前橋付近）



歩道設置が予定されている矢巾東小学校の通学路

交通安全施設整備事業 6204万円

藤沢9号線の歩道設置工事を行います。

町道改良舗装事業 5010万円

中央1号線の整備事業に伴う測量調査設計業務を行います。



片側2車線の改良工事が予定されている中央1号線



67台規模の駐車場拡張予定地

矢巾斎苑駐車場整備 1080万円

矢巾斎苑に新たな駐車場を整備します。

図書購入費 2000万円

図書室の移転に向け新たな図書の購入が予定されています。



狭い現在の公民館図書室

平成27年度予算 特別会計…総仕上げの駅前開発

国民健康保険事業特別会計

30億3480万円

前年度比
20.3%増

国民健康保険に加入している方への医療費や出産育児一時金の給付などのほか、健康保持やその増進を図るため特定健康診査や特定保健指導などに取り組みます。

加入者 (5573人)
1人当たり
54万4554円

介護保険事業特別会計

18億6508万円

前年度比
6.6%増

65歳以上の方全員と40歳以上で要件を満たす方を対象に、要介護区分の認定、介護サービス費給付等を行います。併せて介護予防事業も実施します。

加入者 (6089人)
1人当たり
30万6303円

後期高齢者医療特別会計

1億7219万円

前年度比
5.8%増

75歳以上の方全員と65歳以上で一定の障がいがある方を対象に、保険証（被保険者証）の交付や、高額療養費など各種申請受付を行います。

加入者 (2884人)
1人当たり
5万9705円

矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

7億6251万円

前年度比
68.4%減

駅前地区の整備事業、駅前複合施設の建設などを行います。矢幅駅周辺土地区画整理事業については、本年度が最終年度となります。

町民 (2万6959人)
1人当たり
2万8284円

※1人当たりの金額は、2月末現在の人数から算出しました。

企業会計…新たな井戸をボーリング

水道事業会計

収益的支出 5億3160万円

前年度比
1.4%減

資本的支出 6億3948万円

前年度比
11.7%増

下水道事業会計

収益的支出 10億6498万円

前年度比
1.0%増

資本的支出 14億3215万円

前年度比
39.1%増

※水道・下水道事業会計は複式簿記によって会計処理を行う企業会計なので、表記の方法が異なります。

質疑

予算審査
特別委員会

白熱

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会（若生健勝委員長、廣田光男副委員長）を設置して審議しました。

一般会計

財政

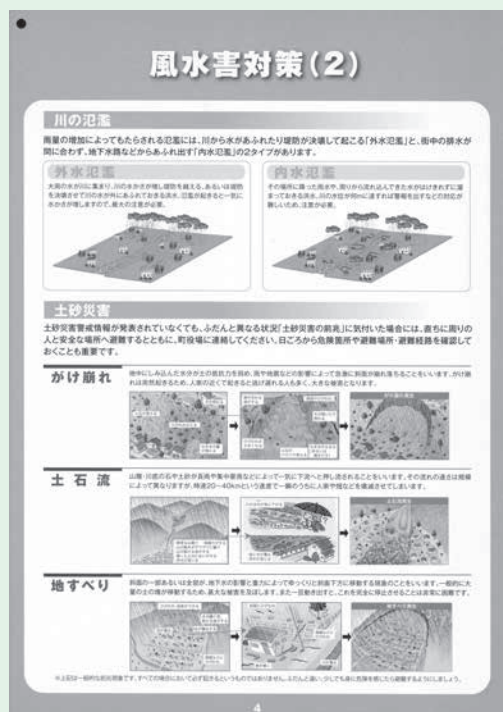
山崎 上下水道料金以外の税金のコンビニ納付は考えていないか。
税務課 近隣市町村では取り扱っているので検討するが、手数料は口座振替で10円、コンビニは50円のようなものである。

藤原(梅) ふるさと納税の取り組みを強力に推進しては。
企画財政課 町で要項を作ったホームページに掲載しPRを行っている。

齊藤 地方創生の交付金はどのような基準か。
企画財政課 26年度は決まっているが、27年度以降は未定である。



新しく作成された防災マップ



総務・防災

昆 マイナンバー制の導入はいつからになるのか。
企画財政課 今年10月から個人にマイナンバーが通知され、来年1月からカード発行業務が開始になる予定。

米倉 庁舎整備費として、冷房工事が計画されているが、その内容は。
総務課 町公民館やさわやかハウスに冷房は設置されているが、役場庁舎には設置されていないため、1階から4階まで冷房を入れる計画である。

齊藤 防災情報を受信できるラジオを、希望する個人宅に配置できないか。
総務課 個人負担額が多いので、わたまるメールにて対応する。

川村(農) 指定管理されている公共施設に、AEDの設置基準はないのか。
総務課 特に基準はない。

小川 備蓄食料の中で、アレルギーに対応する食品は準備されているか。
総務課 現在はないが、今後検討する。
山崎 防災マップはいつ配布するのか。
総務課 現在校正中だが、福祉避難所を追加し4月に配布予定。内容は冊子型とし、前編は知識・解説編で、後編は地図となっている。

米倉 消防OB等の消防団への加入推進は。
総務課 広報紙等での周知や手当ての値上げで対応し、企業に対しても契約を結ぶなど検討中である。

川村(農) 指定管理されている公共施設に、AEDの設置基準はないのか。
総務課 特に基準はない。

なんちよに使っみんなのお金

産業・建設

長谷川 中央1号線の改良工事の計画内容は。

道路都市課 町道西前線交差

点から矢巾東小交差点までを、幅員30m、片側2車線、両側歩道にする計画である。

秋篠 農林水産業費が4.6%増であるが、主な内容は。



多面的機能支払対象の草刈作業

村松(信) 農地費の多面的機能支払いの日当で、民有地、公用地で違いはあるのか。

農林課 大きな意味で、国土保全の取り組みなので、区別はなく対象になる。

廣田 畜産振興は農商工連携が不可欠であり、紫波町のモチモチ牛の活用などの例もあるが、どのように取り組むか。

商工観光課 具体的活用例に学び、今後検討していく。

谷上 中村地区、藤沢地区の住宅建築計画戸数は。

道路都市課 中村地区は一般住宅185戸、藤沢地区は一般・共同住宅73戸・店舗12棟

農林課 シイタケほだ木の原木購入への補助と、多面的支払い制度の補助金分である。

である。

川村(よ) 町入札土木工事の町内業者割合は。

道路都市課 ほとんどが町内業者であるが、特殊なものや大規模工事は町外業者もある。

廣田 矢巾温泉振興会補助金の内容は。

商工観光課 3月末に復活総会を行い、環境整備や小さいイベントを行いながら、少しずつ元気の出る活動をしていくことを考えており、そのため補助金である。



元気の出る活動が求められる矢巾温泉（保養センター）

福祉・環境

小川 町営住宅の今後の考えと、今年度三堤住宅3号棟が改修になるが、アンケート調査を行ったらどうか。

道路都市課 新しくは建設しない。外壁などの補修を行い長持ちさせたい。また三堤住宅についてはアンケートを実施するが、予算の関係で全ての要望を実施することはできない。

川村(よ) 平成27年度の保育料は何段階に区分するのか。

住民課 国は8段階であるが、町は現行と同じ17段階に区分し、低所得者の軽減を図る。

高橋 児童と高齢者のインフルエンザ予防接種の実績は。

生きがい推進課 児童は2回接種で約65%、高齢者は1回接種で50%強となっている。

藤原(由) ごみの減量化で、生ごみを減らす対策が必要ではないか。

住民課 分別収集対象外地区があるが、生ごみの分別によりごみの5%減量を目指す。

川村(農) 幼児の突発的な一時預かりに力を入れてほしい。

住民課 保育園の行事等への体制などで、人員の配置など事前の予約がないと対応できないが、できるだけ事情を考慮して受け入れたい。

昆 福祉避難所の当事者からの声は聞いたのか。また、避難所までの足の確保は。

生きがい推進課 対象者への聴取を行った上で、締結を予定している。足の確保は事業所の車などを利用する予定である。

藤原(梅) 総合グラウンドでの少年野球大会などで多くの父兄が参観に来るが、改修要望の多いトイレの改修を早期に実現してほしい。

社会教育課 あまり遠くない時期に整備したい。

小川 各コミュニティのトイレ改修はどのようにすれば良いか。

企画財政課 町のコミュニティ施設等整備事業で支援している。

村松(信) 松くい虫被害の状況は。

農林課 本町は事前の予防により、被害は落ち着いてきている。



改修が予定されている三堤住宅3号棟

教育・文化

村松(信) 通学の送迎車の交通安全対策は。

学務課 校門で誘導しているが、学校の手前で降ろしての通学をお願いしている。

藤原(梅) 英語を教える外国人指導者確保の予算が少ない

のではないか。

学務課 小学校は臨時職員で対応し、中学校は人材派遣事業予算で優秀な人材を確保している。

村松(輝) 児童数によって学務課の事務量の差はあるのか。

学務課 児童数が変わっても仕事量はほとんど同じである。

藤原(梅) 学校におけるいじめが問題になっているが、本町のいじめ防止対策は。

学務課 県教育委員会の調査対象項目に当てはまるいじめはない。なお、不登校児への対応はしている。

高橋 不動小プール改修の時期は。

学務課 4月入札予定で6月の始めには完成したい。

昆 幼保連携の認定子ども園の町内の状況は。

学務課 中央幼稚園の1カ所であるが、不動保育園は28年に予定している。

負担軽減

特別会計

高橋 ジェネリック医薬品の周知と件数は。

住民課 年3回周知しており、

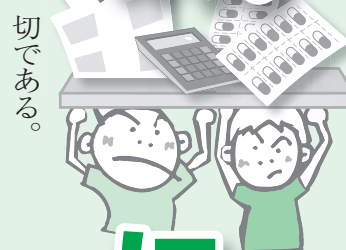
使用率は約40%である。

昆 認知症の居宅介護対策は。

生きがい推進課 精神的・肉体的に疲労が溜まって来るので、介護する家族の支援が大



利用率が高まっている駅西駐車場



とどろく取り組みが

切である。

藤原由 国民健康保険の医療費給付は毎年増大していくので、啓蒙活動で負担軽減しては。

住民課 健診による早期発見を一番にし、重症化の予防を図る。医療費削減の啓蒙を重点的に行う。

川村(農) レセプト点検で誤診を防げないか。

住民課 保険証取得の資格や使用薬剤の点検などであり、診察の内容調査は行われていない。

廣田 矢幅駅西口駐車場の維持管理費と利用率との比較で料金設定は適切か。

区画整理課 1日平均73台の利用で、月極めの65台は満車状態。充足率は68%で、コスト上からも問題はない。



配水管布設替え工事

水道・下水道 企業会計

山崎 平川食品の未収金に対する回収状況と、今後の見通しは。

上下水道課 下水道使用料約668万円は破産管財人に申

し出しており、その他過料等は盛岡地裁に交付要求をしている。一部は回収の見込みだが、大部分は回収不能と予想される。

川村(よ) 水道料金が高いことの説明は。

上下水道課 水源や配水管の状況で市町村ごとに異なる。

審査報告

予算審査特別委員会委員長

芦生 健勝

11項目の附帯意見を附し可決

- 1 地方創生への取り組みは、住民参加でアイデアを出し合うなど鋭意努力されたい。
- 2 ふるさと納税制度の積極的な取り組みを図られたい。
- 3 農家所得向上のため、農業振興への積極的な支援を進められたい。
- 4 生活道路の整備と除雪対策に万全を期されたい。
- 5 観光振興は西部地区を強力に位置づけ、充実強化に取り組みされたい。
- 6 少子化対策は、子育て支援の充実に取り組みされたい。
- 7 小学生の体力向上対策と学びフェスタの家庭への啓発に取り組みされたい。
- 8 駅前複合施設の図書センターは、児童図書を増やすなど、一層の充実を図られたい。
- 9 本町のスポーツ振興を図る



議長(右)に附帯意見を提出する正・副委員長

ため、施設の充実と町民の体力強化などに努められたい。
10 認知症施策総合推進事業は、福祉の充実を図るため、万全を期されたい。
11 下水道事業会計における不明水対策や正しい利用を促す啓発に一層の努力をされたい。

複合施設をシンボルに

矢幅駅周辺土地区画整理事業、複合施設は本町の発展のシンボルであり、町民や町を訪れる人たちの拠点として活用が期待される。
スマートインターは本町の活性化に結びつく建設である。町民の健康を守るための各種検診は大きな効果を上げており、福祉政策を評価し賛成とする。

米倉 清志

賛成

笑顔あふれる町づくり

予算審査は、特別委員会において十分な審査を行った。町民憲章に掲げている「和」といたわりと希望の町の実現のため、思いやりの心を重視して、創造と工夫を凝らし、全ての町民が笑顔あふれる町づくりのために、十分に配慮された予算であることから賛成する。

村松 信一

介護保険料引き下げを

消費税増税や安倍首相の経済政策アベノミクスにより、特にも子育て中の母子家庭や一人暮らしの高齢者は大きな負担を強いられている。
本町の大規模公共事業である複合施設の建設を進める一方で、生命に深くかかわる国保料や介護保険料、上下水道料金引き下げの要望には応えていないことから反対する。

川村 よし子

反対

駅前一局開発に反対

駅前開発への一局集中で借金の指標である将来負担比率は県下1位の154.6となり、町民は将来にわたる大きな借金を背負う。
そのため子育て支援や福祉に予算が回らず、子どもの医療費助成は県下で最低ランクであり、老朽化した町営住宅は改築ではなく廃止の方向が示されたことから反対する。

小川 文字

討論

介護保険料改定へ

27年度から基準額を5700円に

条例

介護保険条例の一部改正

第6期介護保険事業で、保険料は4月1日から基準額で9000円アップの5700円に改定されました。

【主な質疑】

質問 基金はどのくらいあるのか。取り崩しはしているか。

答弁 基金は約4800万円あり、今回1800万円ほど取り崩す予定である。

新「教育長」の設置に伴い関係条例を制定

地方教育行政制度の改革により、これまでの教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が常勤の特別職として設置されます。

なお、経過措置として4月1日に旧教育長が在職する場合、旧教育長の教育委員として

の任期満了日までは任期が続くものであり、本町の場合教育長の任期は平成30年9月1日までです。

保育所設置条例の一部改正

煙山保育園の改築工事に伴い、定員を180人から150人に変更しました。

【主な質疑】

質問 定員を180人から150人にした根拠は。

答弁 平成25年こずかた保育園開園により90人増、26年北高田保育園定員増により10人増、矢中中央保育園開園により20人増となっており、町全体として120人増となっている。一方、煙山保育園は150人を下回る現状が続き、このような定員とした。



改築工事が完了した煙山保育園

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意



もんてん かつとし
門田 勝利さん(再)
(高田2区)



さかもと のぶゆき
坂本 信行さん(再)
(白沢行政区)



この ふみこ
今野 文子さん(再)
(下北行政区)

工事情負契約

煙山ダム災害復旧工事情負契約の変更

土捨て場をひまわり畑北側および総合グラウンド南側の町有地等にしたことにより、運搬距離の変更に伴う工事費約6401万円の減額を行うものです。

【主な質疑】

質問 土砂浚渫の状況は。

答弁 5万8368立方メートル浚渫済みである。浚渫した土砂はひまわり畑とグラウンド南側に積んでおり、グラウンド分は駐車場として利用したいと考えている。

煙山児童館増築工事情負契約の締結

契約金額は9936万円で、現在の敷地東側の館庭部分に新しく2階建ての施設を増築

し、同時に現在の施設の壁なども改修する予定です。

【主な質疑】

質問 工事中時期と完成時期は。また安全対策はどうなっているか。

答弁 4月に着手し、8月までの5カ月間で完成の予定。工事期間中は現在の児童館を使用せず、煙山小学校のプレハブ校舎を借りる予定であり、安全面は確保される。

補正予算

補正予算は全ての会計で計上され、一般会計は約3億3088万円を追加し、約102億892万円となりました。主な内容は次の通りです。

主な歳入

▽地域住民生活等緊急支援のための交付金
7695万円



災害復旧工事が予定されている南昌山線

▽土地売却収入
1228万円

主な歳出

▽南昌山線災害復旧事業
1億5282万円
▽消費喚起型プレミアム商品券発行事業補助金
4507万円
▽地方創生先行型事業委託料
2195万円

【主な質疑】

質問 地方創生先行型事業の内容は。

答弁 地方版総合戦略の策定、減塩の改善加工品の開発研究や販売拡大などである。

質問 プレミアム商品券の有効期限と販売方法は。

答弁 期限は平成27年8月1日から28年1月31日までで、販売方法は従来通りと考えているが、今後協議し検討する。

みなさんからの請願

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願



もんてん かつとし
門田 勝利さん(再)
(高田2区)



さかもと のぶゆき
坂本 信行さん(再)
(白沢行政区)



この ふみこ
今野 文子さん(再)
(下北行政区)

採択

審査意見

現在の特別支援学校(旧ろう学校)のほとんどの教師が手話を使って生徒に授業をしている。またテレビ番組でも手話通訳を伴ったニュースなどがたびたび見受けられるようになった。
このようなろう者を取り巻く環境に比べると、法整備は立ち遅れていると思われる。

全員賛成

推薦者 一般社団法人岩手県聴覚障害者協会
盛岡支部長 菊池 るり子
紹介議員 昆 秀一
齊藤 正範



町立煙山保育園落成記念祝賀会



一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。
3月会議では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

● 谷上 哲 議員…………… P18

- ①本町の職員採用および人事政策
- ②本町の行政組織に関して

● 村松 信一 議員…………… P20

- ①平成27年度予算編成の基本的考え

● 川村 よし子 議員…………… P22

- ①介護保険制度
- ②県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本計画構想
- ③農業振興対策

● 昆 秀一 議員…………… P24

- ①夢と希望に満ちた笑顔あふれる矢巾町らしい町づくりを
- ②発達障がい児・者への支援体制は
- ③矢巾町高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画に関して

● 藤原 由巳 議員…………… P26

- ①平成27年度の町政運営方針
- ②平成27年度教育行政方針

● 齊藤 正範 議員…………… P19

- ①農業再生への取り組み
- ②地方創生の取り組み

● 山崎 道夫 議員…………… P21

- ①公共交通網の整備拡充と道路整備計画
- ②省エネ・節電の取り組みとしてLED化の推進を

● 小川 文子 議員…………… P23

- ①複合施設をめぐる諸問題
- ②子どもの医療費助成

● 藤原 梅昭 議員…………… P25

- ①医大附属病院開業までの町対応は
- ②東日本大震災の被災支援
- ③教育行政方針より

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。なお、詳しい内容を知りたい方は、議会事務局にお問い合わせください。

各議案の採決状況

平成27年定例会3月会議

議案番号	提出議案	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一	採決結果	
諮問1号	人権擁護委員門田勝利さんの推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
諮問2号	人権擁護委員坂本信行さんの推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
諮問3号	人権擁護委員今野文子さんの推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案1号	紫波町との障害支援区分認定審査会共同設置規約の名称と執務場所の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案2号	指定介護予防支援等の事業の職員・員数・運営に関する基準を定める条例制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案3号	地域包括支援センターの包括支援事業基準を定める条例制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案4号	教育委員長と教育長を1本化した新教育長を配置するため、現行の教育長の給与及び勤務時間に関する条例廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案5号	新教育長の職務義務の免除項目に関する条例制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案6号	現行の教育委員長の、報酬及び費用弁償の区分を削除する条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案7号	新教育長を特別職の職員に位置づけるための条例制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案8号	国家公務員の給与改正に伴う、一般職員給与引き下げなどの条例改正		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案9号	消防団員の確保のため消防団0Bなどの機能別団員の創設と、給与・勤務等に関する条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案10号	町立煙山保育園の定員を180人から150人にする条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案11号	法令改正に伴う町税条例の不利益処分における不服行政手続法の条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案12号	電子化図面導入に伴う、課税台帳や図面などの手数料を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案13号	平成27年度～29年度の第6期介護保険料を値上げする条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案14号	関係する団体の削除や名称を変更する町交通安全条例の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案15号	指定地域密着型サービス事業の人員、設備、運営基準を定める条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案16号	指定地域密着型介護予防サービス事業の条例改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案17号	矢幅駅西地区、中村地区、藤沢地区の造成に伴う町道10路線の廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案18号	矢幅駅西地区、中村地区、藤沢地区の造成に伴う町道31路線の新たな認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案19号	煙山ダム災害復旧工事の土砂運搬先変更に伴い請負金額を減額する契約締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案20号	平成26年度国民健康保険事業の9671万円追加する補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案21号	平成26年度介護保険事業の2931万円追加する補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案22号	平成26年度後期高齢者医療特別会計の887万円追加する補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案23号	平成27年度一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案24号	平成27年度国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案25号	平成27年度介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案26号	平成27年度後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案27号	平成27年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案28号	平成27年度水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案29号	平成27年度下水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案30号	煙山児童館増設工事をタカヨ建設(株)と工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案31号	平成35年度までの第7次総合計画基本構想		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案32号	上下水道課強化のための職員定数条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案33号	プレミアム商品券事業など平成26年度一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案34号	工事量確定などに伴う平成26年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案35号	工事量確定などに伴う平成26年度水道事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案36号	工事量確定などに伴う平成26年度下水道事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案1号	議員活動の基となる矢巾町議会基本条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案2号	議員活動(会派へ)に支払う政務活動費交付の条例制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案3号	議会政務活動費交付の必要な事項を定める規則の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案4号	議会政務活動費運用規程の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案5号	議会改革による常任委員会組織の追加などの議会委員会条例の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案6号	新たに組織した予算決算常任委員会規程の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案7号	新たに組織した広報広聴常任委員会規程の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案8号	手話を言語として認めるよう国への「手話言語法制定」意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決

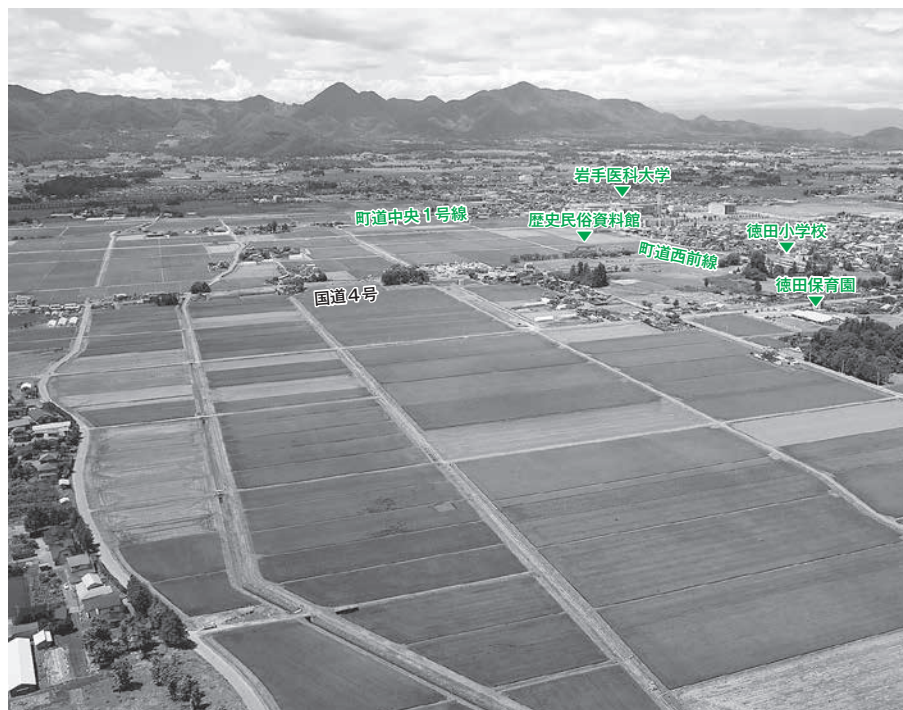
注：藤原義一議長は採決に加わらない。



さいとう まさのり 齊藤 正範 議員

どうする耕作放棄地の活用

新しい制度に沿って取り組む



農地集約が図られている徳田第2基盤整備完了地区

質問 農業の収益強化のため、国は農地の8割を担い手に集約しようとしているが、状況と今後の取り組みは。
町長 平成24年度の担い手を対象とした調査に基づく、利用権設定や作業受委託されている水田は、約50%から

75%の範囲内である。現在、地域農業の設計図である「人・農地プラン」の見直しを行っているが、確認後、国の目標に近づけるようにしたい。
質問 農地の違反転用の解消が進まない原因と、農地中間管理事業を活用した放棄地を解消する施策の考えはないか。
農業委員会会長 農地の所有者と耕作者の言い分の違いや、解決に時間を要す案件が多い。25年に農地法が改正となり、知事の裁定後、農地中間管理機構が利用権を取得できるとされており、状況に応じて新しい制度に沿って取り組む。

独自の熱意ある戦略策定は

全庁をあげて対応

質問 政府は「まち・ひと・しごと地方創生本部」を設置



やがみ さとし 谷上 哲 議員

新人事評価制度の活用策は

現在新制度設計の作業中

質問 高度な専門能力を持った人材の育成や活用について問う。
町長 最近では盛岡広域市町の連携で行っている研修へ相互に参加し合うことにより、能力開発のみならず職員間の交流を深めることで意識改革にも資するよう努めている。
質問 人事評価など公平、公正な運用および人事の活性化策は。
町長 昨年改正された地方公務員法で、能力評価・業績評価による人事評価の実施、ならびに人事任用や給与待遇への評価結果の反映が、平成28年度から義務付けとなるので、現在新制度の設計作業を行っている。



人事評価は町民サービス向上につながるか

質問 平成28年度から実施の新制度について問う。
町長 平成24年度と25年度で人事評価を試行的に行ったが、これは能力を上司が普段の様子を見て評価した。この新制度は27年度に試行し、28年度には能力評価に業

績評価をプラスし、自己評価したものを上司が評価する。この評価を人事任用や給与待遇に当てはめ、評価が悪いから下げると言うのではなく、頑張るように意欲を喚起するものであり、今後職員への説明会を予定している。

質問 国家公務員との比較で地方公務員の給与水準を表す指数（ラスパイルズ指数）に關し、本町の事態と周辺市町との比較は。
町長 平成26年4月1日現在における本町のラスパイルズ指数は92・7となっており、周辺の市町については盛岡市が99・8、滝沢市が97・0、雫石町が93・6、紫波町が93・7となっている。

質問 女性の輝く社会の実現に関する対応策は。
町長 早急に実施すべき施策として「すべての女性が輝く政策パッケージ」を取りまとめている。本町職員に直ちに実施できることとしては、出産・子育ての支援があり、妊娠した女性職員が出産に際しての産前産後休暇の取得、および育児のための育児休業の取得は全員が行っている。今後も休暇等取得しやすい職場環境づくりを行う。

し、地方の人口減少の対策で「熱意ある地方の創意工夫を全力で応援する」としているが、戦略策定はどのようになっているのか。
町長 町長を本部長とし、全管理職を本部長とする「人口減少対策推進本部」を2月2日に設置しており、全庁をあげて対応する。

質問 施策は計画・実施・評価・改善のサイクルの基に数値目標を設定して、必要な改善を行いつつ推進しているが、評価と公表はどのタイミングで行うのか。
町長 評価・公表等については今後内容を検討していく。

質問 業務が多岐にわたることから、新たな部署を設置できないか。

人材として今期末定年退職を迎える優秀な課長級など職員を活用を考えて熱意ある取り組みをしてはどうか。
副町長 今スタートラインに立ったばかりなので、議員のご意見も踏まえながら今後さらに検討を進める。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う



やまざき みちお 山崎 道夫 議員

さわやか号の経路見直しを 利便性向上を図っていく



利便性の向上が求められているさわやか号

質問 通勤や通学、通院などに必要な公共交通網の整備について、今後どのような施策を進めていくのか。
町長 矢幅駅経由のバス路線の充実と、鉄道との乗り継ぎが大きな課題として挙げられており、医大附属病院開業に

向け、駅からのシャトルバスの運行を検討していきたい。

質問 通院等で移動に不便をきたしている高齢者等への配慮も必要であり、さわやか号の利便性を高めるため、経路の見直しや増便等を行うべきと考えるが、その見解は。
町長 今後、高齢者の増加に伴い交通弱者が増えることが予想されることから、高齢者の交通手段として、さわやか号の利便性の向上を図っていただきたいと考えている。

質問 生活道路の拡幅・舗装等に対する請願等の進捗状況と今後の整備計画を明らかにされたい。
町長 道路拡幅や舗装の新設など130路線の要望に対し、平成25年度末の整備完了が73路線で、約56%の整備率となっている。

今後の整備計画は、第7次総合計画で十分検討した上で策定していく。

庁舎LED化を

前向きに検討

質問 役場庁舎LED化を推進するべきと考えるがどうか。
町長 安定器の取り外しや配線工事など、多額の費用を要することなどから、慎重に取り組むべきと考えている。

質問 安定器の取り外しや配線工事は必要なく、リースなどで、かなり安く導入できるようなってきており、消費電力も70%も削減となることから、実現に向け検討すべきでは。
町長 今後、前向きに検討していきたい。

質問 事業所等がLED化する際に無利子で資金を貸し出す事業の創設を検討してはどうか。
町長 先進自治体の動向を見極め、融資制度や補助制度等の導入について検討していきたい。



むらまつ のぶかつ 村松 信一 議員

重点的に取り組む事業は 駅前区画整理事業に全力

質問 平成27年度予算は創意と工夫により確実に事業を執行するとあるが、その重点事業は。
町長 一昨年8月9日の大雨洪水被害の復旧を最優先にし、矢幅駅前地区土地区画整理事業に全力で取り組む。

質問 広宮沢第2地区土地区画整理事業について、売却率と操業状況を問う。
町長 売却率は83.2%となっており、契約済みの60社のうち45社が操業している。

質問 燃えるごみの収集は平成23年から年間2%ずつ増加しているが、減量のための対策はどのように考えているか。
町長 青空教室・資源回収コ



復旧された山王茶屋前橋

ンクールや各コミュニティと協働し、ごみ減量を図る。

質問 土地利用について、すでに開発中の中村・藤沢地区以外の計画はあるのか。
町長 南明堂地区約5.7ヘクタール、土樋地区約0.0

1ヘクタールは市街化区域に編入となっているが、今後第7次総合計画で検討したい。

質問 駅西区画整理事業の未処分地はどれ位あるか。全数販売のための施策は何か。
町長 保留地7カ所・町有地

5カ所となっている。
ホームページ・秋まつりでのPRやハウスメーカー・岩手医大等に出向き営業を行う。

質問 財政運営で平成27・28年頃が一番厳しい状況と捉えていたが、現在の状況は。
町長 現在の状況では、平成31・32年頃が最も厳しい状況になると捉えている。

質問 矢巾町で活用可能な新エネルギーは、太陽光発電のほかどのようなものがあるか。
町長 太陽熱利用・ペレットストーブ・木質バイオマス・中小水力発電・小風力発電・クリーンエネルギー自動車などである。

質問 健康長寿のまちづくりにおいて、緊急時の対応や身の回り支援の具体策は。
町長 電話回線利用の緊急通報装置や「おげんき見守りシステム」などで対応する。

高齢者・障がい者世帯に配食サービスを実施している。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う



小川 文子 議員

子育てセンター安全か 避難シューターも設置する



設置予定のらせん式避難シューター (イメージ)

設置する。

子どもの 医療費助成を

小学生の入院まで 助成拡大する

質問 子どもの医療費の窓口支払いのない現物給付と、中学校卒業までの助成を求める運動が広がった。

町長 県は、現物給付への移行と小学生の入院まで助成を拡大することになったが、本町も小学生までの病傷給付の助成の拡大ができないか。

町長 小学生の入院助成を県は平成27年8月から実施するのに対し、本町は4月から所得制限なしで実施する。

病傷給付の拡大は考えていないが、子育て支援は医療費助成だけではなく、保育料の軽減など総合的に取り組んでいる。

なお、児童館の使用料無料化は本町と盛岡市のみである。

質問 駅前複合施設は多くの問題があると指摘してきたが、町民から住民監査請求が出されている。

町長 4階建てから3階建てに変更しており、これ以上の規模縮小は考えておらず、適正な維持管理運営を行わせる。

質問 107億円のうちの国の補助金は29億6000万円の計画であったが変更はないか。

町長 現在までに26億6155万円の交付を受けており、平成27年度では合計で28億9505万円となる見込みである。

質問 3階の子育て支援センターは子どもの一時預かり事業を行うのに、保育室と避難階段までの距離が30メートルを超えており法令違反ではないか。

町長 当センターは児童福祉法に定める児童福祉施設に該当しないため適用外となるが、避難階段と避難シューターを



川村 よし子 議員

介護保険料の負担軽減を 政府案を受けて対応

質問 第6期介護保険事業計画では、4月からの介護保険料基準額で900円値上がり、5700円と決定したが、収入の少ない高齢者の保険料引き下げが必要ではないか。

町長 平成27年度は、政府による軽減幅が示された後に対応する。

さらに平成29年度から第1段階から第3段階の方の割合を引き下げる方向であり、本町も今後対応していきたい。そのことにより収入の少ない方々への負担軽減になるものと捉えている。その財源は一般会計から繰り入れることとなるため、さらなる繰り入れ



資源ごみの分別に精を出す地域住民 (高田1区)

は考えていない。

町長 65歳以上の高齢者を対象として、各種介護予防事業のおでんせ広場・老人クラブの介護予防教室を行っている。機能チェックリストを活用し、「元気はつらつ教室」や認知症予防の「脳いきいき教室」等を行っている。

ごみ減量対策は

3Rの啓発を図る

質問 今後のごみ減量対策、リサイクル計画を問う。

町長 リデュース・リユース・リサイクルの3Rの啓発を図るために、資源回収活動・青空教室・出前講座などを働きかけていく。

※リデュース…減らす。
リユース…繰り返し使う。
リサイクル…再資源化する。

質問 岩手県ごみ処理広域化計画の「県央ブロックごみ処理施設広域化基本構想」が示された。新たに3市5町で高温ガス化溶融炉(250億円)の建設計画であるが、本町での説明会を計画するべきではないか。

町長 東徳田地区で1回開催したが特に意見はなく、平成43年稼働で進める決定をした。今後、各地区でも住民説明会を開催していく。



ふじわら うめあき 藤原 梅昭 議員

医大附属病院開業対応は 定住化に向け宅地形成を図る

質問 岩手医大附属病院開業までの町対応は。

町長 中央1号線の道路拡幅整備、スマートインターからのアクセス道路の早期完成。県事業の徳田橋架け替え事業の供用開始と、国事業の盛岡西バイパスの延伸を要望している。

病院関係者等の定住化に向け、さらなる良好な住宅地形成の誘導を図る。

質問 相乗効果として何を期待し、どう取り組むか。

町長 保健・医療・福祉が充実した「日本一健康な町やば」を目指し取り組む。

多くの交流人口が見込まれ、産業全体への波及効果による、地域経済の活性化につながるよう、多くの定住人口の拡大



医大附属病院敷地内に建設中のエネルギーセンター棟

に取り組み。

質問 当町の将来人口推移報告書では、大幅な減少見通しだが、医大附属病院の移転により人口増になると思われる。人口指標は3万人以上を目標に取り組みべきではないか。

町長 報告書の数値は、何もしなければ減少するという数値だが、病院の移転を加味すれば増えると思われる。

交流人口の定住化のための住宅用地としては、29ヘクタール余の余地があり人口換算で1940人分に相当する。

笑顔あふれる町づくりを 幸福を感じられる町に



こん しゅういち 昆 秀一 議員



子どもたちの笑顔は町の宝

質問 笑顔あふれるために多くアイデアを出し、夢と希望に満ちた町にするための方策を導き出す必要があると考えるが、どうか。

町長 町民の意思を尊重し「みんなでつくる うるおい豊かに躍進するまち やはば」

を基本理念に、笑顔は幸福感や満足感を表す表情であり、幸福を感じられる生き生きとした町づくりを進める。

質問 夢と希望に満ちた笑顔あふれる町づくりのための具

町長 現在7次総合計画の策定中であり、その中で策定委員の皆さんの意見を聞きながら具体的なものを考えていく。

質問 赤ちゃんとお年寄りが触れ合う機会をつくり、笑顔を増やす取り組みを推進してはどうか。

町長 笑顔は大事であり、そういう観点から世代間の交流は各所で行っており、今後もしっかり機会をつくっていく。

質問 スマイルあいさつ運動をしている学校があるが、その取り組みの状況は。

教育委員長 矢巾東小学校で、その取り組みが行われており、他の学校はあいさつ運動を行っている。児童のあいさつの定着がなされている。

発達障がい児・者 支援体制は

理解するため 学ぶ機会を検討

質問 発達障害者支援法が施行され、学校教育でも特別支援教育が充実している。発達障がい児・者に対する課題をどう認識しているのか。

町長 現在、第4期障がい者プラン・障がい福祉計画を協議して、発達障がい児・者の支援は重要事項と認識している。また、その障がいの特性や理解を学ぶ機会として各種研修会を継続開催し、支援内容を検討していく。

質問 同じような立場の人がサポートを行うピアサポートを実践しているのか。

町長 町内ではまだその取り組みは行われていないが、今後、その他各種研修会も含めて行っていく予定にしている。

大震災の 被災者支援は

今後とも継続支援

質問 沿岸から当町への被災者支援および被災地への今後の支援状況は。

町長 当町への避難者は、現在50世帯109人いるが、訪問健康チェック等で対応している。

被災地支援は、県からも要請が来ており、27年度も職員2人の派遣を予定している。

質問 原木シイタケもいまだ風評被害の影響があり厳しいが、今後の支援はあるのか。

町長 原木価格が高騰しており、新規購入は木に対し国・県の2分の1補助事業の継続を支援する。

質問 脱原発の考えに変わりはあるか。

町長 従来と同じで脱原発の考えに変わりはない。

私もひとこと!

平成27年度の町政運営は 新たな発想による町政を



質問 勇退表明後の川村町長の施政方針を受け、以下についてお聞きする。
「地域に根ざした活力ある産業の町づくり」の具体策は。
町長 基幹産業である農業振興においては、新規就農者への新たな農業技術の取得支援や6次産業化のさらなる推進を図る。
また、医大附属病院関連として新たな需要の見込めるヘルスケア産業の誘致等、新たな体制による発想での町政の発展を期待する。

質問 年々増大化する国保事業について、国は新たな方策を示したが本町では今後どのように取り組むのか。

町長 平成30年度から、県が中心となり町と合同で国保運営するとされており、事務の広域化・効率化を図っていく。
質問 交流人口と定住人口の増加が見込まれているが、安全で安心な町づくりに向けた



もっと大きくなあれラジオ体操の輪 (和)

町長 防犯対策はどうか。
町長 防犯対策においては、矢巾交番の増強を要望するとともに、町内防犯組織のさらなる強化を目指す。
併せて自主防災組織の充実を含め、機能別消防団員制度による非常備消防組織の強化

等、安全・安心の町づくりに鋭意取り組んでいく。
夢と感動の若手国体に向けて
今後さらなる検討を進める

質問 1年後に迫った国体への具体策は。
夢と感動を与えた前国体から半世紀。今の青少年には初めての地元国体に向け、選手や応援団の受け入れ態勢等の対応はどうか。
教育委員長 選手や応援団の受け入れと競技の応援対策については、本町ではラジオ体操等デモストレーション競技であり、今後さらに検討する。
また、大会期間中のイベント等についても、今後関係団体とも協議しながら特設会場を設営し、おもてなし料理の提供や矢巾町のPRに向け具体策を検討していく。

町政を感じることができた

町や議会の動きは「広報やば」や「やはば議会だより」を見て知る程度でした。
今回初めて議会の傍聴をさせて頂き、議員の活動や行政の流れを、若干でも実感することができて大変良かったと思っています。
時間の関係で最後まで傍聴することができず、残念に思

いながら帰りました。
気軽に自宅でネット中継を視聴できれば、子育て中の女性や家事で忙しい主婦など、役場に來て傍聴できない人にとっても、町政を知る機会が増え興味が湧いてくるのではないかと感じました。
また、機会があれば傍聴したいと思っております。

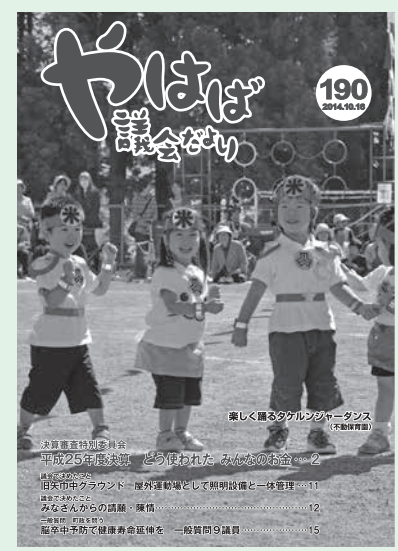
とよみ しょうご
巴 秀子さん (藤沢行政区)



議会を傍聴する筆者 (右)

みなさんも議会を傍聴しませんか
次の定例会議は6月です。どうぞお気軽にお越しください。詳しくは議会事務局まで。
(電話 019-611-2801)

県町村議会広報コンクール 入選1席



入選した190号

読みやすく分かりやすいを常に心がけて

平成26年度若手県町村議会広報コンクールにおいて、190号(26年10月16日発行)が入選1席になりました。
この4年間「読みやすく、分かりやすく、親しまれる広報づくり」を常に心がけてきました。今回の入選でそれが評価されたの思いで、編集委員一同喜んでいきます。
今後とも町民の皆様のご協力を宜しく願っています。



受賞を喜ぶ議長と編集委員

編集委員長 山崎 道夫

議会からのお知らせ

一般質問 町政を問う



競技中の筆者

ジュニアオリンピックカップ 優秀選手賞

なかむら **中村** あゆむ **歩夢** さん (現在 不来方高校1年 西徳田2区)

目標は岩手国体に 出場するくらい

矢巾中学校に入学しハンドボール部に入部した理由は、いとこたちからハンドボールの楽しさを聞いていたこと、入学直前に行われた不来方高校男子の試合を見て感動したからです。初めの頃は基本もルールもわからず、ただ練習についていくことで必死でした。2年生になり試合に出してもらうことが増えました。先輩達が上手でチームも強く、東北大会に進みましたが惜しくも準優勝に終わり、全国大会出場はなりませんでした。「3年生になったら絶対に全国大会に行く」と決意したものの、秋の県新人戦では普段の力を出すことができず2回戦敗退。この時の悔しさが、その後の厳しい練習に耐える原動力になりました。

3年生の東北大会は決勝まで勝ち進み、相手は優勝候補とされていた福島県の本宮第一中学校。前半を同点で終えたものの、後半は準決勝の延長戦の影響から足が重くなりあと少しというところまでいきながら2点差で負けてしまいました。全国大会に手が届きそうだっただけに悔しかったです。鈴木先生(監督)との出会い、仲間や先輩、後輩との出会いは私の一生の宝物です。その後、JOC(ジュニアオリンピックカップ)で、県選抜として全国大会に出場し、優秀選手賞に選ばれました。

私の今の目標は高校2年生の時に行われる岩手国体に出場することです。目標の達成に向け、一緒にやってきた仲間や支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきます。

あ と が き

表紙によせて

平成27年3月21日に徳田保育園で卒園式が行われました。一人一人将来の夢を発表し、立派に小学校へ巣立っていきました。



4年間苦勞を共にしてきた編集委員で作る議会だよりも、この号をもって最後となりました。

大変な仕事でしたが、一つの物事を成すことの難しさと同時に、楽しさも教えていただきました。多くの皆様のご協力に心から感謝しペン置きします。

編集委員長 山崎 道夫

- 発行・編集責任者 議長 藤原 義一
- 編集委員 委員長 山崎 道夫
副委員長 小川 正文
委員 齊藤 正一
委員 藤原 秀昭
委員 藤原 梅一

